

□意見概要及び事務局対応案

都市像Ⅱ 田園と都市が織りなす、環境健康都市
政策⑥ 人と環境にやさしいにぎわうまち

【対応案】 ①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

項目	番号	※議事録P	意見概要	素案P	事務局対応案		※確認
					対応案	理由	
8年後の姿 (イラスト)	1	7	イラストを見てわかりにくい箇所は、市民にわかりやすくするため、コメントや説明が必要ではないか。		③	他のイラストとのバランスをみながら、対応を検討します。	事務局 (政策調整課)
現状と課題	1	9	湊町文化が新潟市の顔とイメージできない市民が多いと感じるので、もう少し全市的に共有できるようにすべきではないか。	87	②	ご指摘の点については、課題であるとの認識から「現状と課題」に記載しました。そのうえで施策17「まちなか再生・都心軸の明確化」により、「湊町文化」が新潟市の顔となるよう全市的な共有を目指します。具体策は実施計画・分野別計画で検討します。	地域・魅力創造部 都市政策部
	2	16, 17	図⑥-1からは「現状と課題」へのインパクトが小さいのではないか。また、図⑥-1の見方がわかりづらいので、注書きを入れてはどうか。		①	図⑥-1は住民票の移動事由を基にしたものです。就学の際には住民票の届出を出さない方も多いため、数値が小さくなっていると考えられますが、流出という大きな傾向を示したものです。さらにお示しできる図表がないか検討します。また、図⑥-1については、わかりやすくなるよう修正をします。	事務局 (政策調整課)
	3	17, 18	高校生が進学先を選ぶ基準、大学・専門学校生が就職先を選ぶ基準を調査していれば、新潟市が抱えている若者たちに対する課題が見えてくるのではないか。		③	これまで、大学生、専門学校生の方々にもご参加いただいてワークショップを開催し、ご意見をいただきましたが、今後、具体的な取り組みを進める際には大学生や専門学校生の方々との意見交換を行うなど、効果が大きくなる手法を検討させていただきます。	事務局 (政策調整課)
	4	20	公共交通の利用減少についてバスのデータがあるが、鉄道も利用が減少しており、車でなければ移動できないまちになってしまっていることから、鉄道のデータも載せることが必要ではないか。	88	①	都市像Ⅰ「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」の図①-2において、バスの利用データの他に、鉄道や自動車等も含めた新潟市民の交通手段の実態を把握したデータを66ページにお示ししております。参照ページを入れるなどわかりやすさに配慮します。	都市政策部
施策17	1	12	「花街など湊町文化」とあるが、湊町文化の一環として花街が栄えたとしても、湊町文化はもっと奥深いものだと思うので、表現を修正すべきではないか。	91	①	ご指摘の趣旨を踏まえ、湊町文化が単に花街との認識にならない様に表現を検討し、修正いたします。	地域・魅力創造部
	2	14	「都心軸リノベーションの実現」について、具体的に表現してもらおうとわかりやすくなるのではないか。		①	再開発によるビルなどの施設の更新を駅前、万代、古町と連動させる取り組みや、「みなとまち」の歴史や文化を活かしたまちなみの保全することを目指すもので、わかりやすさの向上へ表現の工夫や注釈を入れることを検討します。	都市政策部
施策19	1	12, 19	郊外では、鉄道とバスの連絡が悪く、そのことで原因で自家用車を使うケースが多く見られる。公共交通体系の構築にあたり、バスの新設だけでなく既存の鉄道とバスの組み合わせも重要になってくると思うが、既存の公共交通、鉄道に関する記述も必要ではないか。	91	①	これまで超高齢社会を見据え、過度にマイカーに依存しなくても誰もが移動しやすいバスや鉄道など総合的な交通環境の実現に向けた取り組みを進めてきました。今後も施策19及び政策①の施策3により取り組みを強化していく方針を記載していることから鉄道に関する記述を追加します。具体策については分野別計画や実施計画で記載していきます。	都市政策部
	2	13	抜本的に交通網を見直さないと、高齢者は暮らせないまちになってしまうと思う。10年後、20年後には車の運転ができなくなることも踏まえて、市民の足をどう確保していくかを施策で明確にするべきではないか。				都市政策部

□意見概要及び事務局対応案

都市像Ⅱ 田園と都市が織りなす、環境健康都市
 政策⑦ 誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち

【対応案】①素案を修正する。
 ②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
 ③その他(検討等)

項目	番号	※議事録P	意見概要	素案P	事務局対応案		※確認
					対応案	理由	
8年後の姿(イラスト)	1	31	イラストを見ると職業が固定化されているイメージなので、例えば本市の特色である農業を活かして、障がいのある人、ひきこもりの人が生産から製品化、販売に関わるストーリーのように描いたらどうか。	93	③	他のイラストとのバランスをみながら、対応を検討します。	事務局(政策調整課)
8年後の姿	2	24, 32	「ひきこもりなどの生活困難を抱える人が、さまざまな産業、農業など、自分にふさわしい働き方ができる」の中の「さまざまな産業、農業など」としているが、障がい者、若年無業者と農業がマッチングしやすいことは、農業が盛んな新潟市としてアドバンテージを持っていることになるので、そういった市の強みを書きこんだ方がよいのではないかと。	93	①	市の特色を表わすため、「8年後の姿」の「さまざまな産業、農業など」を「農業など本市の特性を活かしたさまざまな産業」などの表現に修正します。	農林水産部
現状と課題	1	26, 27	「本市の女性就業率は政令市の中で最も高く、女性が働きやすい環境が整っている」と書いているが、「最も高くなっている」という書き方でいいのではないかと。	94	①	ご意見のとおり、修正いたします。	経済部
	2	33	現在の新潟は、障がい者の雇用が1.65%と低値にあるため、障がいを抱えていても暮らしやすく、誰もが心身ともに健やかな暮らしを営めるように、社会全体でサポートしていく体制や雰囲気づくりに努めることが障がい者の働きやすい環境づくりにつながるのではないかと。		②	障がい者の雇用率を上げるうえでも、安心した暮らしの実現は重要と考えており、都市像Ⅰの政策①の施策2「障がいのある人が自立した生活を送れるための支援」により進めていきます。	福祉部
施策21	1	31	8年後の姿で「ワーク・ライフ・バランス」について触れているが、施策21ではどのように生かしていくのかが見えづらい。	97	②	「自身が望む働き方をして自己実現を果たす」うえで、ワーク・ライフ・バランスは重要な要素です。それぞれの施策で目指す「ふさわしい働き方」ができる前提として、ワーク・ライフ・バランスの考え方を踏まえているものと考えております。具体的な取り組みについては、実施計画や分野別計画で検討します。	市民生活部
	2	29, 30	女性特有の問題と若者の問題は切り口が違うと思うので、クロボチを分けて書いた方が伝わりやすいのではないかと。		①	わかりやすさを向上させるため、クロボチをわけて、「・女性が自身が望む働き方をして自己実現を果たすことは社会の活力維持につながることから、一人ひとりが安心して働き、意欲や能力を十分に発揮できる環境づくりを進めます。」 「・若者が働くことを通して社会的に自立して、自信をもって夢や目標に向かって動き出せるよう環境づくりを進めます。」 などとする事で対応します。	経済部
施策22	1	30	障がいのある人とひきこもりの人の問題も、切り口が違うと思うので、クロボチを分けて書いた方がわかりやすいのではないかと。	97	①	わかりやすさを向上させるため、クロボチをわけて、「・障がいのある人が誇りをもって自立した生活をおくることができるよう、就労やその後の定着への支援を図っていきます。」 「・ひきこもりなどの生活に困難を抱えた人が、自然、田園など本市の特性を活かした農業体験などを通じて、自己実現を果たし、社会の活力維持につなげる環境づくりを進めます。」 などとする事で対応します。	経済部
	2	30	政策が「誰もがそれぞれに」と書いてあるのに、施策では、女性、若者、障がい者と特定されているので、書きぶりを工夫した方がよいのではないかと。		②	雇用の場の確保に関し、政策⑨「雇用が生まれ活力があふれる拠点」と連動を図りながら、政策⑦にて、女性、若者、障がいのある人、ひきこもりの人などが、自身にふさわしい働き方ができるように市の政策として焦点をあてることで、「誰もがそれぞれに」と記載しております。	経済部
	3	33	生きづらさを抱えた若者が、仕事を継続していくには、自分に合った職業を選択できるという土壌が必要不可欠と考える。障がい者も将来を前向きに見据えることができる思考を育てるためには、特別支援教育の充実や多方面にわたった就労体験の機会を設けることが大切であると考えているがどうか。		②	障がいのある人が自立した生活をおくるようにするため、これまで障がい者就業支援センターの開設、障がい者職場実習支援事業を実施するなど雇用拡大に努めてきました。ご指摘の点については、今後も施策22により進めていきます。具体策としては実施計画・分野別計画などで検討します。	福祉部
施策	1	33	働くという意味を経済的な観点だけでなく、社会的に活躍するという意味を含めるとすれば、現実的には増え続ける元気な高齢者の活用も施策に入れるべきではないかと。	97	②	自己実現を図るうえでご指摘の観点は重要であり、元気な高齢者について、政策①の施策1の中で「元気な高齢者に地域づくりの担い手として活躍していただくなど、高齢者の社会参加を促進し」と記載しております。具体策としては実施計画・分野別計画などで検討します。	福祉部